

JPAB

CLIPPEDIMAGE= JP401269162A

PUB-NO: JP401269162A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 01269162 A

TITLE: HOME BETTING TERMINAL

PUBN-DATE: October 26, 1989

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

SUZUKI, KATSUMI

SHIMAMOTO, NAOKI

YOSHIKAWA, NORIAKI

MIZUTA, HIDEYUKI

INT-CL\_(IPC): G06F015/28; G07C013/00 ; H04N007/08

ABSTRACT:

PURPOSE: To allow a betting person to promptly obtain latest race information and to bet as he desires by providing a teletext processing part, receiving and accumulating the information concerning the race during the time of betting reception, and displaying it on the picture of a television according to a request.

CONSTITUTION: At a home betting terminal 11 to bet the individual race in each type of the race, a teletext processing part 12 receives and accumulates the information such as the opinions of commentators reported in race special papers such as forecasting papers during the time of the betting reception, and it is displayed on the picture of a television 14 according to the request of a betting person. Thus, the betting person can promptly obtain the latest race information, and he can bet confirming to his desire.

COPYRIGHT: (C)1989,JPO&Japio

## ⑫ 公開特許公報 (A)

平1-269162

⑬ Int.Cl.<sup>4</sup>G 06 F 15/28  
G 07 C 13/00  
H 04 N 7/08

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 平成1年(1989)10月26日

B-7230-5B  
7347-3E

A-8838-5C 審査請求 未請求 請求項の数 2 (全8頁)

⑮ 発明の名称 在宅投票用端末

⑯ 特願 昭63-97844

⑰ 出願 昭63(1988)4月20日

⑱ 発明者 鈴木 勝美 神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地 富士通株式会社  
内

⑲ 発明者 嶋本 尚樹 神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地 富士通株式会社  
内

⑳ 発明者 吉川 範昭 神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地 富士通株式会社  
内

㉑ 発明者 水田 英行 神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地 富士通株式会社  
内

㉒ 出願人 富士通株式会社 神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地  
㉓ 代理人 弁理士 長谷川 文廣 外2名

## 明細書

## 1. 発明の名称

在宅投票用端末

## 2. 特許請求の範囲

(1) 文字多重放送を受信してレースに関する文字データを処理し、その結果をテレビ(14)の画面に表示する文字多重放送処理部(12)と、  
入力装置(15)から入力された投票に関する情報を処理し、電話回線網(16)を通して主催者側センタ(17)に対してレースの投票を行う投票処理部(13)  
とから構成され、各種の競技における個々のレースの投票を行う在宅投票用端末(11)において、  
文字多重放送処理部(12)は、投票受付時間の合間に、レースに関する情報を受信して蓄積しておき、それを、要求に応じてテレビ(14)の画面に表示する  
ことを特徴とする在宅投票用端末。

(2) 文字多重放送を受信してレースに関する文字データを処理し、その結果をテレビ(24)の画面に表示する文字多重放送処理部(22)と、

入力装置(25)から入力された投票に関する情報を処理し、電話回線網(26)を通して主催者側センタ(27)に対してレースの投票を行う投票処理部(23)

とから構成され、各種の競技における個々のレースの投票を行う在宅投票用端末(21)において、投票処理部(23)は、入力装置(25)から入力された投票に関する情報を処理し、電話回線網(26)を通して主催者側センタ(27)に対してレースの投票を行い、主催者側センタ(27)から投票を受け付けた旨の信号を受信した後、投票券のフォーマットを作成し、それに投票データを挿入し、その結果を文字多重放送処理部(22)へ送り、

文字多重放送処理部(22)は、投票データを投票券のイメージでテレビ(24)の画面に表示する

ことを特徴とする在宅投票用端末。

### 3. 発明の詳細な説明

#### (概要)

在宅投票用端末に関し、

投票者がレース情報を迅速に入手できるようにし、かつ投票内容の確認を容易にすると共に投票者に臨場感を与えることを目的とし、

文字多重放送を受信してレースに関する文字データを処理し、その結果をテレビの画面に表示する文字多重放送処理部と、入力装置から入力された投票に関する情報を処理し、電話回線網を通して主催者側センタに対してレースの投票を行う投票処理部とから構成され、各種の競技における個別のレースの投票を行う在宅投票用端末において、文字多重放送処理部は、投票受付時間の合間に、レースに関する情報を受信して蓄積しておき、それを、要求に応じてテレビの画面に表示し、投票処理部は、投票に関する情報を処理し、投票券のフォーマットを作成し、それに投票データを挿入

し、その結果を文字多重放送処理部へ送り、文字多重放送処理部は、投票データを投票券のイメージでテレビの画面に表示するように構成する。

#### (産業上の利用分野)

本発明は、在宅投票用端末の不在投票方式に関する。

競馬、競輪、競艇等各種の競技の投票券は、競技場内あるいは場外に設置された発売窓口で購入するのが一般的である。

しかし、近年、ファンサービスの一環として、競技場内あるいは場外の発売窓口へ出掛けることなく、家庭に居ながらにして競馬、競輪、競艇等各種の競技の投票を行うことのできるシステムが開発され、実用化されている。

このようなシステムは、在宅投票システムとよばれているが、ファンが真に満足できるシステムは、いまだ開発されていないのが現状である。

#### (従来の技術)

第6図は、従来の電話投票システムの例を示す

図である。

第6図において、61は主催者側センタ、62は電話回線網、63a、63b、63c、…は電話機、64a、64b、64c、…は会員である。

電話投票システムには、いくつかの方式がある。以下、代表的な方式について説明する。

#### (1) 電話口伝方式

会員64は、電話機63を用いて主催者側センタ61を呼び出し、主催者側センタ61に待機している職員に対して電話口を通してレース番号、式別、組番号、賭金などの投票情報を伝達する。会員から投票情報の伝達を受けた主催者側センタ61の職員は、それらの情報をコンピュータに入力する。コンピュータに入力されたデータは、トータリゼータシステムの中で、競技場内又は場外で発売された一般の投票券と同様に処理される。投票券購入代金及び払い戻し金の決済は、会員の銀行口座を通じて行われる。

#### (2) コンピュータ通信方式

会員64は、電話機63を用いて主催者側セン

タ61内のコンピュータを呼び出し、このコンピュータに対して、ダイヤル式電話機の場合には音声で、ブッシュホンの場合にはブッシュボタンを押下することにより、レース番号、式別、組番号、賭金などの投票情報を送信する。コンピュータが受信したデータは、トータリゼータシステムの中で、競技場内又は場外で発売された一般の投票券と同様に処理される。投票券購入代金及び払い戻し金の決済は、会員の銀行口座を通じて行われる。

#### (発明が解決しようとする課題)

従来の電話投票システムでは、会員が競馬、競輪、競艇等の情報を新聞、テレビ、ラジオ等を利用して収集し、それに基づいて、自分で予想を行い、その結果を、電話機を用いて主催者側センタへ伝達することにより投票していた。

したがって、会員と主催者側センタとの通信は、有線による双方向通信であるから、会員数を限定しないと、主催者側センタにおけるデータ処理が詰まる、結果として会員に迷惑をかけるという問

題があった。また、電話回線網が混雑して、会員と主催者側センタとの通信がうまく行われないという問題もあった。

また、従来の電話投票システムでは、会員が主催者から受ける情報は、競技場の天候や出走取消、程度しかなかった。したがって、会員が投票するのに有効な情報は少なく、会員に対するサービス性が悪いという問題があった。

本発明は、上記の問題点を解決した在宅投票システムで用いる在宅投票用端末において、投票者が最新のレース情報を迅速に入手できるようにし、かつ投票内容の確認を容易にすると共に投票者に臨場感をあたえることのできる在宅投票用端末を提供することを目的とする。

(課題を解決するための手段)

上記の目的を達成するために、第1の発明の在宅投票用端末は、文字多重放送を受信してレースに関する文字データを処理し、その結果をテレビの画面に表示する文字多重放送処理部と、入力装

置から入力された投票に関する情報を処理し、電話回線網を通して主催者側センタに対してレースの投票を行う投票処理部とから構成され、各種の競技における個々のレースの投票を行う在宅投票用端末において、文字多重放送処理部は、投票受付時間の合間に、レースに関する情報を受信して蓄積しておき、それを、要求に応じてテレビの画面に表示するように構成する。

また、第2の発明の在宅投票用端末は、文字多重放送を受信してレースに関する文字データを処理し、その結果をテレビの画面に表示する文字多重放送処理部と、入力装置から入力された投票に関する情報を処理し、電話回線網を通して主催者側センタに対してレースの投票を行う投票処理部とから構成され、各種の競技における個々のレースの投票を行う在宅投票用端末において、投票処理部は、入力装置から入力された投票に関する情報を処理し、電話回線網を通して主催者側センタに対してレースの投票を行い、主催者側センタから投票を受け付けた旨の信号を受信した後、投票

券のフォーマットを作成し、それに投票データを挿入し、その結果を文字多重放送処理部へ送り、文字多重放送処理部は、投票データをテレビの画面に表示するように構成する。

第1図は、第1の発明の原理説明図である。

第1図において、11は在宅投票用端末、12は文字多重放送処理部、13は投票処理部、14はテレビ、15は入力装置、16は電話回線網、17は主催者側センタである。

在宅投票用端末11は、文字多重放送処理部12及び投票処理部13から構成されている。

文字多重放送処理部12は、文字多重放送を受信し、それを処理し、その結果をテレビ14の画面に表示する。

投票処理部13は、入力装置15から入力される投票データを電話回線網16を介して主催者側センタ17へ送信することにより、レースの投票を行う。

テレビ14には、通常のテレビ画面及び音声並びに文字多重放送処理部12から出力される文字

が表示される。

入力装置15は、キーボードやリモート・キーパッドなどからなり、投票処理部13へ投票データを入力するためのものである。

電話回線網16は、在宅投票用端末11と主催者側センタ17とをつなぐためのものである。

主催者側センタ17は、在宅投票データを処理するためのものであり、トータリゼータシステムの一部を構成している。

また、第2図は、第2の発明の原理説明図である。

第2図において、21は在宅投票用端末、22は文字多重放送処理部、23は投票処理部、24はテレビ、25は入力装置、26は電話回線網、27は主催者側センタである。

在宅投票用端末21は、文字多重放送処理部22及び投票処理部23から構成されている。

文字多重放送処理部22は、文字多重放送を受信し、それを処理し、その結果をテレビ24の画面に表示する。

投票処理部23は、入力装置25から入力される投票データを電話回線網26を介して主催者側センタ27へ送信することにより、レースの投票を行う。

テレビ24には、通常のテレビ画面及び音声並びに文字多重放送処理部22から出力される文字が表示される。

入力装置25は、キーボードやリモート・キーパッドなどからなり、投票処理部23へ投票データを入力するためのものである。

電話回線網26は、在宅投票用端末21と主催者側センタ27とをつなぐためのものである。

主催者側センタ27は、在宅投票データを処理するためのものであり、トータリゼータシステムの一部を構成している。

#### (作用)

まず、第1の発明の在宅投票用端末と第2の発明の在宅投票用端末とに共通する部分の作用を、各部に付した符号を並記して、説明する。

想紙などの競技専門紙に掲載される評論家の意見などの情報を受信して蓄積しておき、それを、投票者の要求に応じてテレビ14の画面に表示する。

第2の発明の在宅投票用端末21では、投票処理部23は、入力装置25から入力された投票に関する情報を処理し、電話回線網26を通して主催者側センタ27に対してレースの投票を行い、主催者側センタ27から投票を受け付けた旨の信号を受信した後、投票券のフォーマットを作成し、それに投票データを挿入し、その結果を文字多重放送処理部22へ送り、文字多重放送処理部22は、投票データを投票券のイメージで24の画面に表示する。

#### (実施例)

第3図は、在宅投票用端末の構成例を示す図である。

第3図において、301は在宅投票用端末、302は文字多重放送処理部、303は投票処理部、304はMPU、305はチューナ部、306は

在宅投票用端末11、21は、文字多重放送処理部12、22及び投票処理部13、23からなる。

文字多重放送処理部12、22は、文字多重放送を受信し、通常のテレビ画面が表示されているテレビ14、24の画面に重畳して、競馬、競輪、競艇等の競技の情報からなる文字情報を表示する。競技の情報には、レース番号、枠番号、出走者番号、出走者名、成績などがある。また、そのレースが現在発売中であるかどうかという情報も含まれる。

一方、投票者は、入力装置15、25を用いて、自分が購入したいレースのレース番号、単勝式、複勝式、連勝複式などの式別、1-2、2-3、1-3などの組番及び賭金を順次、投票処理部13、23へ入力する。

次に、第1の発明の在宅投票用端末及び第2の発明の在宅投票用端末に特有な作用を説明する。

第1の発明の在宅投票用端末11では、文字多重放送処理部12が、投票受付時間の合間に、予

信号抽出部、307はプログラムROM、308は情報データRAM、309はキャラクタ・ジェネレータ、310は文字多重表示部、311は表示データRAM、312はバス接続部、313はMPU、314は選局制御部、315は入力部、316はプログラムROM、317は投票データRAM、318は回線制御部、319は入力装置である。

在宅投票用端末301は、文字多重放送処理部302及び投票処理部303から構成されている。文字多重放送処理部302は、MPU304、チューナ部305、信号抽出部306、プログラムROM307、情報データRAM308、キャラクタ・ジェネレータ309、文字多重表示部310及び表示データRAM311から構成されている。

投票処理部303は、バス接続部312、MPU313、選局制御部314、入力部315、プログラムROM316、投票データRAM317及び回線制御部318から構成されている。

MPU304は、プログラムROM307に格納されているプログラムに基づいて、信号抽出部306、情報データRAM308、文字多重表示部310及び表示データRAM311を制御する。

チューナ部305は、競馬、競輪、競艇等の文字多重放送番組を放送している放送局を選局して受信する。

信号抽出部306は、チューナ部305が受信した文字多重放送の信号から文字信号からなるレース情報を抽出する。

プログラムROM307には、MPU304が使用するプログラムが格納されている。

情報データRAM308には、信号抽出部306が抽出したレース情報データを格納する。

キャラクタ・ジェネレータ309は、文字データからビット・イメージの文字情報を出力する。

文字多重表示部310は、情報データRAM308に格納されているレース情報データに基づいて、キャラクタ・ジェネレータ309によりビット・イメージの文字情報を作成し、テレビに出力

する。

表示データRAM311には、投票処理部303において入力された投票データがバス接続部312を通して格納される。

バス接続部312は、文字多重放送処理部302と投票処理部303とを接続する。

MPU313は、プログラムROM316に格納されているプログラムに基づいて、バス接続部312、選局制御部314、入力部315、投票データRAM317及び回線制御部318を制御する。

選局制御部314は、投票者が予め設定しておいた放送局を自動的に選局する。

入力部315は、入力装置319からの投票データの入力を受け付ける。

プログラムROM316には、MPU313が使用するプログラムが格納されている。

投票データRAM317には、投票者が入力装置319から入力した投票データが格納される。

回線制御部318は、自動ダイヤルして主催者

側センタを呼び出し、電話回線網を通して投票データを送信する。

入力装置319は、キーボードやリモートキーパッドなどからなり、投票者は、これを用いて投票データの入力をを行う。

以下、第3図の動作を説明する。

在宅投票用端末301は、文字多重放送処理部302及び投票処理部303からなる。

文字多重放送処理部302は、チューナ部305により文字多重放送を受信し、文字多重表示部310により通常のテレビ画面が表示されているテレビの画面に重複して、競馬、競輪、競艇等の競技の情報からなる文字情報を表示する。競技の情報には、レース番号、枠番号、馬番号、馬名、成績などがある。また、そのレースが現在発売中であるかどうかという情報も含まれる。これらの情報は、情報データRAM308に蓄積される。

この時、第1の発明の在宅投票用端末では、文字多重放送処理部302が、投票受付時間の合間に、予想紙などの競技専門紙に掲載される評論家

の意見などの参考情報を受信し、それを情報データRAM308に格納しておく。そして、投票者がこの参考情報を見たいときには、入力装置319からその旨のキー入力を行う。その結果は、入力部315を経てバス接続部312から文字多重放送処理部302へ送られる。文字多重放送処理部302のMPU304は、情報データRAM308から参考情報データを読み出し、文字多重表示部310からテレビの画面に表示する。

一方、投票者は、入力装置319を用いて、自分が購入したいレースのレース番号、単勝式、複勝式、連勝複式などの式別、1-2、2-3、1-3などの組番及び賭金を順次、入力部315へ入力する。入力部315へ入力された投票データは、投票データRAM317に格納される。

投票データを入力し終えたら、投票者は、投票ボタンを押下する。

そうすると、MPU313は、回線制御部318を起動して自動ダイヤルし、在宅投票用端末301と主催者側センタとを電話回線網を介して接

統する。そして、投票データRAM317に格納されている当該レースに関する投票データを主催者側センタへ送信することにより、投票を行う。

この時、第2の発明の在宅投票用端末では、投票処理部303は、入力部315へ入力された投票に関するデータを処理し、回線制御部318を起動し、電話回線網を通して主催者側センタに対してレースの投票を行い、主催者側センタから投票を受け付けた旨の信号を受信した後、投票券のフォーマットを作成し、それに投票データを挿入し、その結果を文字多重放送処理部302の表示データRAM311へ送り、文字多重放送処理部302は、投票券のフォーマットに投票データが挿入されたものを投票券のイメージに変換し、それをテレビ24の画面に表示する。

第4図は、投票時の動作フロー図である。

第4図を用いて、投票の手順を説明する。

①入力装置から、レース番号を入力する。

②入力装置から、単勝式、複勝式、連勝複式などの式別を入力する。

部である。

実際の投票券のイメージを持たせた投票券の形状は、投票券フォーマット作成部54により作成される。

この投票券フォーマットに、投票データを基にして、投票券画面作成用キャラクタ・ジェネレータ53が発生する文字データを挿入する。

このようにして作成された投票券イメージは、バス接続部52を介して、文字多重放送処理部にある表示データRAM51に格納され、文字多重表示部を経てテレビ画面に表示される。

#### (発明の効果)

本発明に係る在宅投票用端末によれば、文字多重放送を受信してレースに関する文字データを処理し、その結果をテレビの画面に表示する文字多重放送処理部と、入力装置から入力された投票に関する情報を処理し、電話回線網を通して主催者側センタに対してレースの投票を行う投票処理部とから構成され、各種の競技における個々のレー

③1-2、2-3、1-3などの購入しようとする投票券の組番を入力する。

④各組番に対する賭金を入力する。

⑤入力が完了したかどうかを判断する。NOならば①の処理からやり直し、YESならば次の⑥の処理を実行する。

⑥投票ボタンを押下する。

⑦回線制御部を起動して自動ダイヤルし、在宅投票用端末と主催者側センタとを電話回線網を介して接続する。

⑧主催者側センタへ投票データを送信する。

第5図は、投票券イメージ表示制御ブロック図である。

第5図を用いて、第2の発明の在宅投票用端末における投票券イメージの作成方法について説明する。

第5図において、51は文字多重放送処理部にある表示データRAM、52は投票処理部にあるバス接続部、53は投票券画面作成用キャラクタ・ジェネレータ、54は投票券フォーマット作成

部の投票を行う在宅投票用端末において、投票者が最新のレース情報を迅速に入手できるようになり、かつ投票内容の確認が容易になると共に投票者に臨場感を与えることができるようになる。

第1の発明に係る在宅投票用端末によれば、投票者は、希望する最新のレース情報を迅速に入手できるため、希望通りの投票を行うことが可能になるという効果がある。

第2の発明に係る在宅投票用端末によれば、①テレビ画面に、競技場の発売窓口で購入するものと同じイメージの投票券が表示されるので、投票内容の確認が容易になる、②投票券を購入したという具体的なイメージが湧くため、投票したことに対する安心感がもてる、という効果がある。

#### 4. 図面の簡単な説明

第1図は第1の発明の原理説明図。

第2図は第2の発明の原理説明図。

第3図は在宅投票用端末の構成例を示す図。

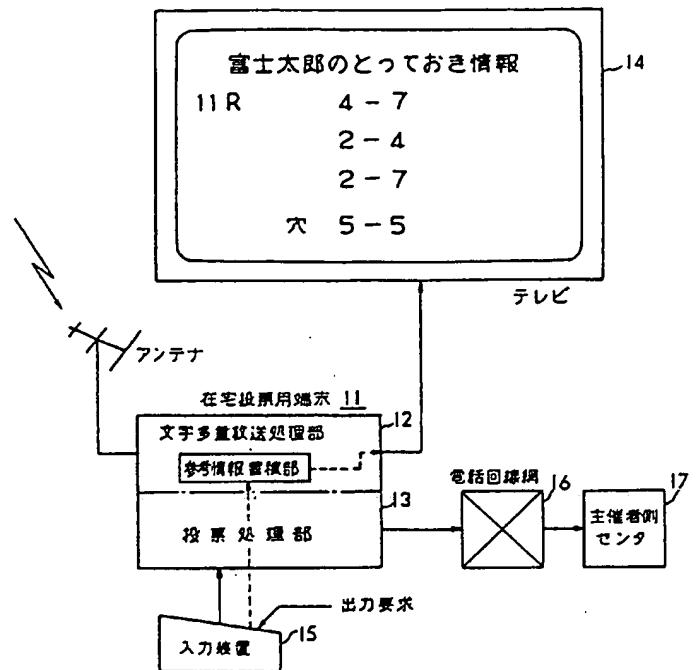
第4図は投票時の動作フロー図。

第5図は投票券イメージ表示制御ブロック図。  
第6図は従来の電話投票システムの例を示す図  
である。

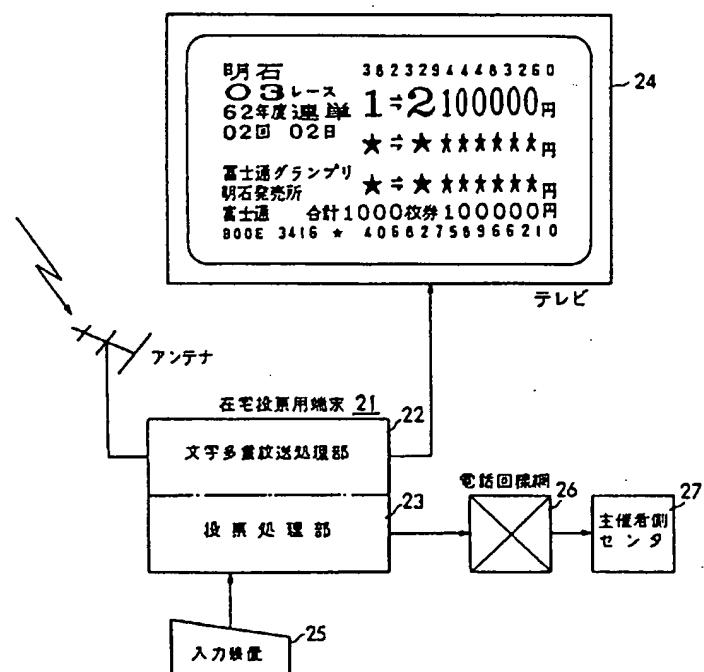
第1図及び第2図において

- 11. 21: 在宅投票用端末
- 12. 22: 文字多重放送処理部
- 13. 23: 投票処理部
- 14. 24: テレビ
- 15. 25: 入力装置
- 16. 26: 電話回線網
- 17. 27: 主催者側センタ

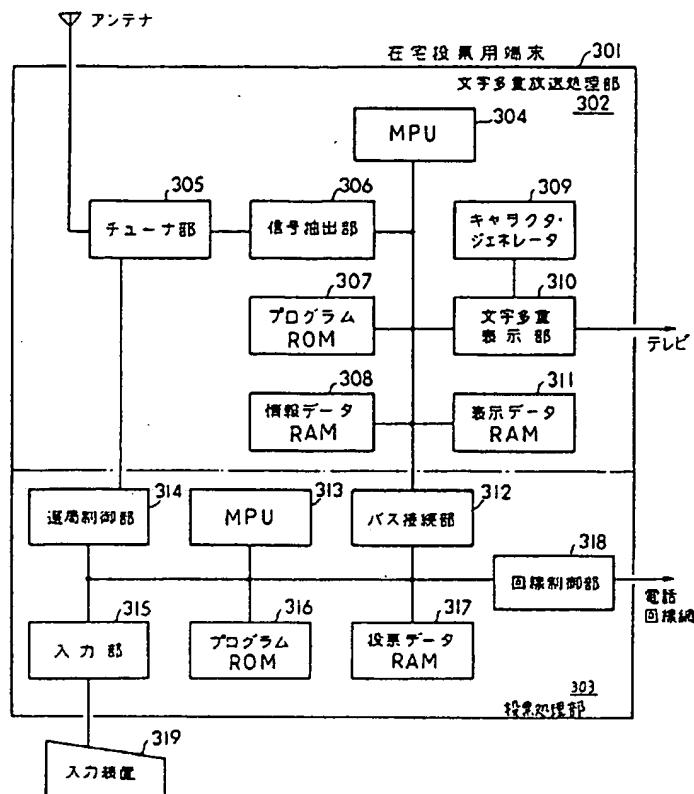
特許出願人　富士通株式会社  
代理人弁理士　長谷川　文廣（外2名）



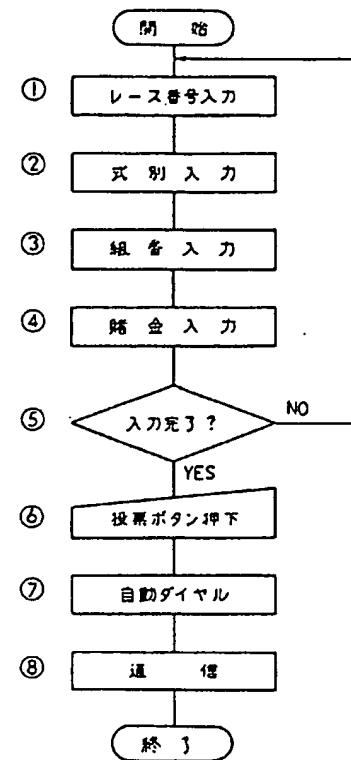
第1の発明の原理説明図  
第 1 図



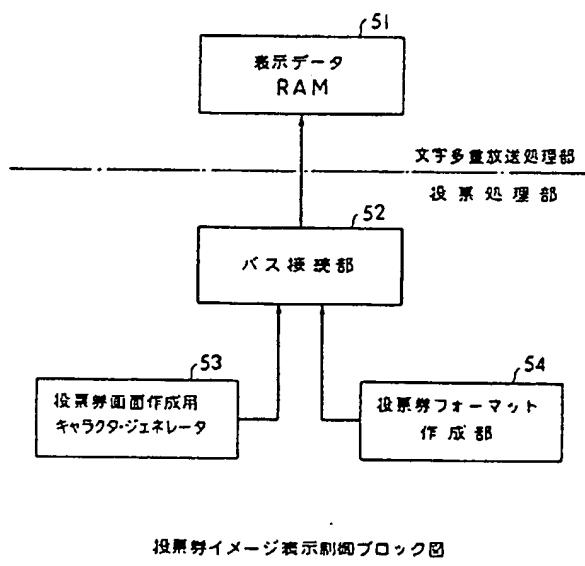
第2の発明の原理説明図  
第 2 図



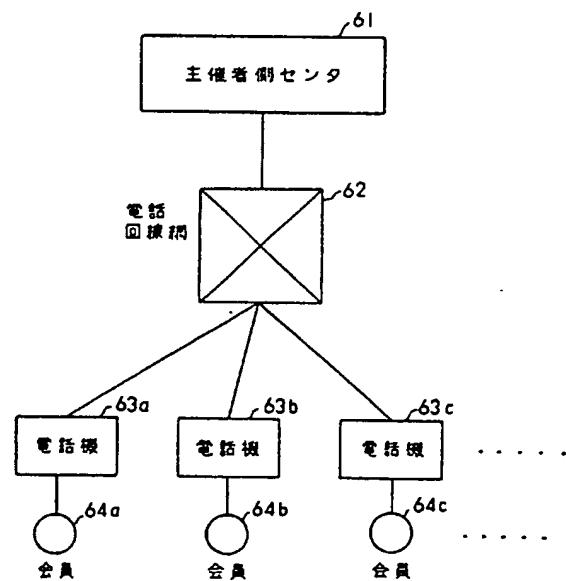
在宅投票用端末の構成例  
第 3 図



投票時の動作フロー図  
第 4 図



投票券イメージ表示制御ブロック図  
第 5 図



従来の電話投票システムの例  
第 6 図